2020年3月　日本語論文

中山間地域における高齢者対応型公共交通サービスの需要予測

土木学会論文集　2005年2005巻786号　p.786-39-786-51

＜概要＞

過疎化や高齢化の進行する中山間地域では, 高齢者の生活交通確保が不可欠である. 効率的な公共交通の運行計画に当たっては, サービスに対する需要を的確に予測することが重要である. 本研究では, 離散連続モデルに基づき, 公共交通サービスの需要予測モデルを提案する. そして, 高齢者の行動メカニズムを反映するため, 非補償型選好が表現可能な効用関数を適用する. また, 従来の2段階推定モデルにおけるパラメータ値の不一致を解消するために同時推定を行う. 実証分析の結果, 提案モデルの有効性を確認するとともに, 島根県の中山間地域を対象としたシミュレーションから, 地域特性に合った公共交通計画の立案が可能であることを明らかにした.

＜感想＞

昨年度、私たちの学年は海外研修のためにこの活動には関わっていませんが、御所班として、御所市の山間部のカーシェアリングに対する意識調査のお手伝いをさせていただきました。そのため、この論文を選択しました。実際に島根県の山間部を対象としたシュミレーションを行っているため、説得力がある論文であると感じました。やはりどのような地域でも、地域の特性をきちんと把握し、地域の方々に寄り添ったサービスを提供することが必要になってくるということを改めて実感することができました。